

第21回日本てんかん学会近畿地方会プログラム

【日 時】 2025年7月20日（日）

*近 畿 地 方 会 10時25分開始
*脳 波 セ ミ ナ ー 11時20分～12時20分
*ランチョンセミナー 12時30分～13時30分
*総 会 13時40分～14時00分
*特 別 講 演 15時20分～16時20分

【開催形態】 現地（大阪私学会館4F 講堂）と
Live配信（WEB開催）のハイブリッド開催

【会 長】 荒木 敦（社会医療法人真美会 大阪旭こども病院）

【脳 波 セ ミ ナ ー】 「脳波判読者の役割 ―てんかんと脳波の知識を他に活かす―」
宇佐美清英（京都大学医学部附属病院 検査部）
共催：アルフレッサファーマ株式会社

【ランチョン「てんかんと発達障害」
セ ミ ナ ー】 中川 栄二（国立精神・神経医療研究センター病院）
共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

【特別講演】 「脳を知り、脳を守る―てんかん生理医の立場から―」
松本 理器（京都大学大学院医学研究科 臨床神経学）
共催：エーザイ株式会社

次回予告

第22回日本てんかん学会近畿地方会

日 時：2026年7月日曜日 ※未定
会 場：神戸市内
開催形式：現地（神戸市内）とWEB（ZoomによるLive配信）
のハイブリッド開催 ※予定
会 長：丸山あずさ
（兵庫県立こども病院 神経内科）

参加者の皆様へ

参加登録

- 1) 今回は、現地（大阪私学会館 4F 講堂）と Live 配信（WEB 開催）のハイブリッド開催となっております。現地受付はございませんので、いずれの参加者も事前に参加登録をしていただく必要がございます。

日本てんかん学会近畿地方会のホームページより、事前参加登録フォームにログインのうえ、お手続きください。http://plaza.umin.ac.jp/~krbjjes/academic_meeting.html

- 2) 参加費（クレジットカード、銀行振り込みに対応）

正会員（地方会）： 3,000 円

非会員・一般： 4,000 円

非会員・研修医： 2,000 円

非会員・メディカルスタッフ： 3,000 円

※銀行振り込みの場合、振込口座は参加登録受付メールに記載しております。申込日から 10 日以内をめどに金融機関でお支払いください。

- 3) 抄録集

プログラム抄録集は PDF 版での発刊となります。（会員のみ会員専用ページから閲覧可能予定）

※会員の現地来場者については、当日先着 100 名まで抄録集の印刷版を無料配布とさせていただきます。WEB 参加される会員の方および非会員の方で印刷版をご希望の方は、会員・非会員にかかわらず、事前参加登録の際にご購入ください。

正会員（地方会） 1,000 円

非会員 2,000 円

開催日の 3 日前以降にご購入いただいた場合は、お手元に届くのが、開催後となる可能性がございますことご了承ください。

- 4) 単位

ご入金が確認でき、単位認定条件を満たした場合のみ、単位の取得が可能となります。

日本てんかん学会てんかん専門医資格更新単位：

研究発表・講演（筆頭演者）20 単位、参加者 10 単位（近畿地方会参加者）

※同一学術集会における発表単位と参加単位は合算しない。

日本臨床神経生理学会認定更新点数：2 点（脳波セミナー受講者のみ）

参加証が 7 月 22 日（火）より印刷可能となります。マイページよりログインのうえ、8 月 29 日（金）までに印刷して保管ください。

- 5) 現地参加される場合の注意事項

① 現地へご来場の方は、受付にてご自身の QR コードを掲示していただく必要がございますので、印刷したものを持参もしくはスマートフォン等で表示が必要となります。 ※スマートフォンの場合、スクリーンショット等でも可能となります。

②発表内容を録音、写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。

6) WEB 参加について

- ・ 事前参加登録受付メールに記載されております URL よりマイページへログインしてください。

※メールが届いていない場合は、学会事務局へご連絡ください。

- ・ マイページ内に WEB 視聴用マニュアルを掲載しておりますので、当日までに必ず、お目通しください。

- ・ Zoom への入室は、各セッション開始 10 分前より入室可能となります。

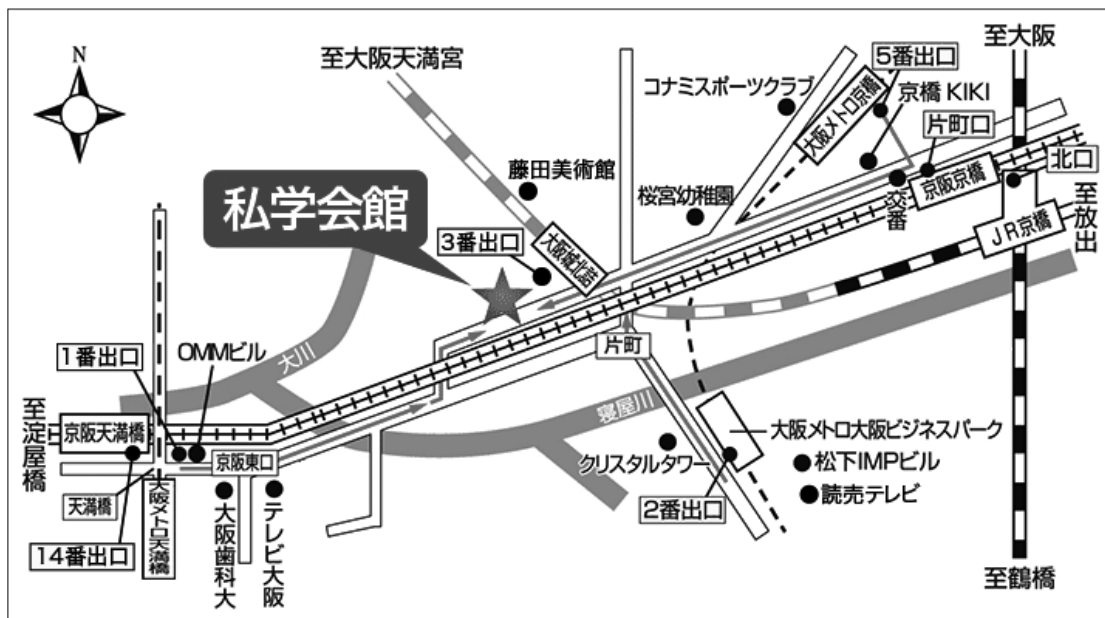
※セッションの遅れなどにより、入室可能時間が遅れる場合がございます。

交通案内

大阪私学会館 4F 講堂

〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町6-20

TEL : 06-6352-3751



■電車でお越しになる場合

◆大阪城北詰駅

【JR東西線】3番出口より西（右）へ徒歩2分、南側（左手）に建物

◆京橋駅

【JR環状線・東西線】北口を出て西（左）へ進み、京阪線高架に沿って徒歩12分、北側（右手）に建物

【大阪メトロ長堀鶴見緑地線】5番出口から地上へ出て南（正面）へ徒歩1分で、京阪京橋駅・片町口、そこを西（右折）へ、京阪線高架に沿って徒歩12分、北側（右手）に建物

【京阪電車】片町口より京阪線高架に沿って西（左）へ徒歩12分、北側（右手）に建物

◆天満橋駅

【大阪メトロ谷町線】北改札口を出て1番出口から地上へ、土佐堀通りを東（右）へ、徒歩12分、京阪線高架をくぐって東側（右手）に建物

【京阪電車】東改札口を出て、14番出口から地上へ、または、東改札口から地下通路
 を通って1番出口から地上へ、土佐堀通りを東（右）へ、徒歩12分、京阪線高架を
 くぐって東側（右手）に建物

◆大阪ビジネスパーク駅

【大阪メトロ長堀鶴見緑地線】2番出口から地上へ出て北（左）へ、歩道に沿って進み、片町橋を渡りさらに片町交差点を北へ渡り、京阪線高架をくぐり西（左）へ徒歩10分、北側（右手）に建物

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮ください。

座長・演者マニュアル

1. 座長の皆様へ

1) 受付方法と時間について

- ①当該セッションの30分前までに来場受付をお済ませください。
- ②セッション開始15分前までに、会場右手前方の次座長席にご着席ください。
- ③セッションの進行については座長に一任いたします。遅延等が出た場合、ご協力をお願いいたします。

2) 発表質疑応答前のアナウンスについて

①セッション開始時

「ただいまより〇〇（セッション名）を開始いたします。」

②質疑応答開始時

「今から質問をお受けします。会場の方はマイクの前に、WEBの方はリアクションボタンをクリックしてください。発言者を指名いたします。」

※チャットでのご質問は読み上げをお願いします。

2. 演者の皆様へ

1) スライドの作成について

- ①使用するアプリケーションは、Microsoft Power Point のみとなります。
- ②スライドサイズは16：9での作成をお勧めいたします。
- ③大容量のビデオ動画はお控えください。

※WEB参加者のネット環境および、ネット配信サーバーの回線状況により著しく回線が遅くなり表示されないケースがございますため、ご協力ください。

- ④発表者ツールでのご発表はできません。必ず原稿はコピーをお持ちください。
- ⑤フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。

日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝

英 語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman

- ⑥プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。

※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。

- ⑦事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。
- ⑧個人情報保護の観点から、日本てんかん学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本地方会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。

2) 当日受付と時間について

- ①当該セッションの30分前までに来場受付をお済ませのうえ、PC受付に発表データをUSBにてご提出ください。
- ②発表時間について
発表7分、質疑3分です。発表時間を厳守してください。
発表開始後6分でベルが1回、7分で2回、質疑終了後3回鳴ります。
- ③ご自身の発表15分前までに会場左手前方の次演者席にお越しください。

※現地では、以下の内容のパソコンにてお送りいただいたデータをご自身で操作していただきます。

なお、パソコンの持ち込みはできかねます。

発表用のパソコン：Windows

アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint

薬剤関連

10:30～11:10

◆座 長 榊原 崇文（奈良県立医科大学 小児科）

1. 当院の薬剤抵抗性てんかんに対するペランパネルの有効性と安全性の検討
○高田 礼¹⁾、戸澤 雄紀¹⁾、宮本 洋輔¹⁾、松浦 周¹⁾、千代延 友裕²⁾、西村 陽^{1,3)}、
森本 昌史¹⁾
1. 京都府立医科大学附属病院 小児科、
2. 京都府立医科大学附属病院 遺伝子診療部、
3. 京都第一赤十字病院 小児科
2. 当センターにおける Lennox-Gastaut 症候群に対する fenfluramine の投与経験 (短期的な有効性及び安全性の検討)
○加嶋 翼、木水 友一、堀部 拓哉、沖 啓祐、中島 健、富永 康仁、最上 友紀子、
柳原 恵子
大阪母子医療センター 脳神経内科
3. 中心側頭部棘波を示す自然終息性てんかんに対するラコサミド単剤療法の使用経験
○伊藤 立人、西山 将広、國澤 久路、末宗 和樹、石田 悠介、丸山 あずさ
兵庫県立こども病院 神経内科
4. てんかん性スパズムに対してエベロリムスが有効であった結節性硬化症の1例
○志手 弥生、福岡 正隆、山川 康平、竹内 彩華、濱本 麻希、温井 めぐみ、
井上 岳司、九鬼 一郎、岡崎 伸
大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科

休憩

11:10～11:20

脳波セミナー

11:20～12:20

◆座 長 丸山 あずさ（兵庫県立こども病院 神経内科）

脳波判読者の役割 ―てんかんと脳波の知識を他に活かす―

宇佐美 清英

京都大学医学部附属病院 検査部

共催：アルフレッサファーマ株式会社

休憩

12:20～12:30

ランチョンセミナー

12:30 ~ 13:30

◆座長 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科)

てんかんと発達障害

中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院

共催：第一三共株式会社、ユーシービージャパン株式会社

休憩

13:30 ~ 13:40

総会

◆議長 貴島 晴彦

13:40 ~ 14:00

画像関連

14:00 ~ 14:30

◆座長 小林 勝哉 (京都大学医学部附属病院 脳神経内科)

5. 内側側頭葉てんかん患者における表情認知機能についてのfMRIを用いた検討
○大矢 佳奈子、田中 章浩、尾原 知行
京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学
6. 発作時脳磁図が外科的切除方針の決定に寄与した限局性皮質異形成の一例
○白石 恵¹⁾、矢野 直子¹⁾、梶本 智史¹⁾、甲良 謙伍¹⁾、佐々木 彩恵子¹⁾、横山 淳史¹⁾、
真田 悠希²⁾、立田 直久³⁾、松橋 眞生³⁾、池田 昭夫³⁾、澤田 眞寛⁴⁾、菊池 隆幸⁴⁾、
松原 康平⁵⁾、岡崎 伸⁵⁾、吉田 健司¹⁾
1. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
2. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学、
3. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座、
4. 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学、
5. 大阪市立総合医療センター 小児脳神経・言語療法内科
7. 全般と焦点てんかんの鑑別あるいは両発作型の併存診断に脳磁図(MEG)検査が重要であった症例からの考察
○真田 悠希¹⁾、松橋 眞生^{2,3)}、田村 優¹⁾、夏原 聡^{2,3)}、立田 直久^{2,3)}、野中 恵^{1,4)}、
山本 寛^{1,5)}、安達 智美¹⁾、友田 陽子¹⁾、梶本 智史⁶⁾、出村 彩郁⁷⁾、河村 祐貴³⁾、
松本 理器^{1,3)}、池田 昭夫^{2,3)}
1. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学、
2. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座、
3. 京都大学医学部附属病院 脳神経内科、
4. 広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学、
5. 滋賀医科大学大学院医学系研究科、
6. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
7. 京都大学医学部附属病院 脳神経外科

手術関連

14:30 ~ 15:10

◆座長 宇田 武弘（大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科）

8. ANT-DBSが有効であったNORSE後の両側側頭葉てんかんの一例
○佐々木 亮太^{1,4)}、小原 啓弥²⁾、木下 真幸子³⁾、田村 健太郎⁴⁾、永田 清⁴⁾、
中川 一郎¹⁾
1. 奈良県立医科大学医学部 脳神経外科、
2. 南奈良総合医療センター 脳神経内科、
3. 独立行政法人国立病院機構宇多野病院 脳神経内科、
4. 独立行政法人国立病院機構奈良医療センター 脳神経外科
9. 限局性皮質異常形成に対する初回切除後に再発を認めた2症例の検討
○山下 智之¹⁾、菊池 隆幸¹⁾、Yao Yang¹⁾、青山 慎平¹⁾、澤田 真寛¹⁾、吉田 健司³⁾、
池田 昭夫²⁾、荒川 芳輝¹⁾
1. 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学、
2. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座、
3. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学
10. 高頻度皮質刺激により保続が誘発された一例
○松本 明香¹⁾、尾谷 真弓¹⁾、芦崎 太一郎¹⁾、橋本 黎¹⁾、木村 正夢嶺¹⁾、甲田 一馬¹⁾、
的場 健人¹⁾、藤本 陽介²⁾、篠山 隆司²⁾、関口 兼司¹⁾、松本 理器^{1,3)}
1. 神戸大学医学研究科 内科学講座脳神経内科学分野、
2. 神戸大学医学研究科 外科系講座脳神経外科学分野、
3. 京都大学医学研究科 脳病態生理学講座臨床神経学分野
11. てんかん重積を来した海綿状血管腫に対して焦点切除術を施行した1例
○中井 康雄、矢本 大洋、中西 陽子、中尾 直之
和歌山県立医科大学 脳神経外科

休憩

15:10 ~ 15:20

特別講演

15:20 ~ 16:20

◆座長 荒木 敦（社会医療法人真美会 大阪旭こども病院）

脳を知り、脳を守るーてんかん生理医の立場から

松本 理器

京都大学大学院医学研究科 臨床神経学

共催：エーザイ株式会社

12. electrographic seizure を認め発作症状は呈さなかった抗LGI1 抗体陽性自己免疫性脳炎の一例
○中野 美佐、中野 郁哉、細川 明子、佐木山 裕史、北川 一夫
市立吹田市民病院 脳神経内科
13. 笑い発作を主徴とした前頭葉てんかん2症例—笑いの特徴と神経回路の比較
○入里 直樹、クー ウイミン、平井 健太郎、根岸 克行、末松 拓也、藤永 貴大、
清水 豪士、細見 晃一、谷 直樹、押野 悟、貴島 晴彦
大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
14. 限局性皮質異形成を呈しAKT3 遺伝子の体細胞変異を認めた薬剤抵抗性てんかんの女児例
○加納 千聖¹⁾、土肥 周平¹⁾、匹田 典克¹⁾、服部 妙香¹⁾、佐久間 悟¹⁾、渡邊 早苗²⁾、
田中 勝治²⁾、服部 英司²⁾、森本 笑子³⁾、川嶋 俊幸⁴⁾、宇田 武弘⁴⁾、辻 浩史⁵⁾、
伊藤 義彰⁵⁾、宮田 元⁶⁾、加藤 光広^{7,8)}、藤田 京志⁹⁾、松本 直通⁹⁾、濱崎 考史¹⁾
1. 大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学、
2. 西宮すなご医療福祉センター、
3. 大阪市立総合医療センター 放射線診断科、
4. 大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経外科、
5. 大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学、
6. 秋田県立循環器・脳脊髄センター 脳神経病理学研究部、
7. 昭和医科大学医学部 小児科学講座、
8. 昭和医科大学病院 てんかん診療センター、
9. 横浜市立大学大学院医学研究科 遺伝学